

[法人の概要]

令和6年7月1日現在

① 団体名	株式会社日光自然博物館					
② 設立年月日	昭和63年11月1日	③ 代表者 代表取締役社長 仁平 康介				
④ 所在地等	日光市中宮祠2480番地1		電話 0288-55-0880			
⑤ 設立目的 事業内容	栃木県立日光自然博物館の管理運営を第三セクターに行わせることにより、民間活力の導入及び公共性の調和を図るとともに、弾力的な運営を可能とするために設立。 (事業内容) 1 受託事業 ①日光自然博物館管理運営業務 ②奥日光地区駐車場管理運営業務 ③駐車場周辺環境整備業務他 ④中禅寺湖畔国際避暑地記念施設管理運営業務 2 旅客自動車運送事業(低公害バス運行) 3 売店事業					
⑥ 基本財産 (資本)	総額	300,000千円				
	(内訳)	栃木県出資額	120,000千円	(40.0%)		
		東武鉄道(株)出資額	114,000千円	(38.0%)		
		日光市出資額	40,800千円	(13.6%)		
		足利銀行出資額	15,000千円	(5.0%)		
		その他	10,200千円	(3.4%)		
⑦ 役職員数	県OB	県派遣	県現職	他団体等	専任	合計
理事	1		1	5		7
常勤	1					1
非常勤			1	5		6
監事			1	1		2
常勤						0
非常勤			1	1		2
職員	2			2	29	33
常勤	2			2	29	33
非常勤						0
臨時						0
⑧ 常勤職員の 年齢構成	~20代	30代	40代	50代	60代~	平均年齢
	6	4	1	9	13	49.8才

〈 株式会社日光自然博物館 から県民のみなさまへ 〉

株式会社日光自然博物館は、栃木県立日光自然博物館、中禅寺湖畔国際避暑地記念施設、奥日光地区駐車場等の県有施設を指定管理者として管理運営しています。

上記の指定管理施設の管理運営に当たっては「日光国立公園の自然や文化の情報、知識を提供し、併せて観光産業の振興を図る」という設置目的を達成するため、過去に培ったノウハウを活かし、奥日光地区の他団体等と連携を図り、奥日光地区の地域振興、観光振興を目指してまいります。

令和6年7月 代表取締役 仁平 康介

[情報公開]

HP	URL : <a href="https://www.nikko-nsm.co.jp/">https://www.nikko-nsm.co.jp/</a>
その他 (情報誌・SNS等)	ブログ 戦場ヶ原からこんにちは X・facebook・Instagram・YouTube

[監査等結果]

名称	実施年月日	結果
監査役監査	令和6年5月10日	適正

[その他特記事項]

(市町その他との連携・業務効率化のためのICT利活用など)  
ライトアップ奥日光における開館時間延長やプチナイトハイクの実施など、地域イベントとの連携にも取り組んでいる。

[主な事業の事業費・概要等] (千円、%)

事業名	R4	R5	事業概要
事業1 栃木県立日光自然博物館 管理運営費	53,618 23.4	55,365 24.5	栃木県立日光自然博物館の管理運営に係る業務
事業2 奥日光地区駐車場管理 運営費	39,294 17.2	38,607 17.0	奥日光地区駐車場の管理運営に係る業務
事業3 国際避暑地記念施設 管理運営費	8,114 3.5	7,104 3.1	国際避暑地記念施設の管理運営に係る業務
全体事業	228,911	226,440	

[財務指標]

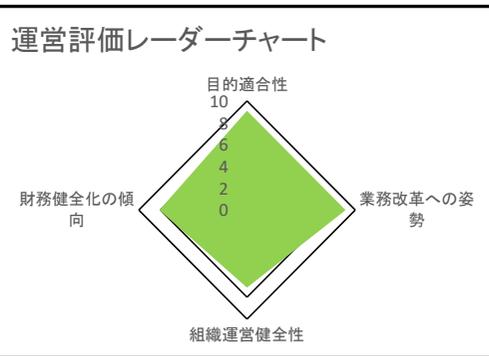
	(%)	R3	R4	R5
自己資本比率	資本合計/負債資本合計×100	77.1	75.6	78.2
流動比率	流動資産合計/流動負債合計×100	1,229.5	975.4	617.5
有利子負債依存度	有利子負債/負債資本合計×100	8.5	7.3	4.8
売上高対販売・管理費比率	(販売費+管理費)/売上高×100	107.0	95.5	91.2
人件費比率	人件費/(販売費+管理費)×100	42.1	40.3	41.8
総資本経常利益率	経常利益/負債資本合計×100	-3.4	2.7	4.4

[収支決算書（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）] (単位：円)

収入の部		支出の部	
営業収益		営業費用	
指定管理業務受託収入	112,909,090	売上原価	6,508,586
受託料収入	0	販売費及び一般管理費	268,876,836
管理料収入	3,532,454		
観覧料収入	10,183,609		
国際避暑地観覧料収入	18,263,615		
イベント収入	76,681		
駐車場収入	100,663,045	営業外費用	306,268
ガイド料収入	10,746,203	法人税等	4,460,500
バス事業収入	25,339,058		
奥日光レンタサイクル事業	909,898		
売店売上	12,195,106		
レジ袋売上	829		
物品賃借料収入	162,358		
営業外収益	2,750,253		
当期収入合計(A)	297,732,199	当期支出合計(C)	280,152,190
前期繰越収支差額	74,767,393	当期収支差額(A-C)	17,580,009
収入合計(B)	372,499,592	次期繰越収支差額(B-C)	92,347,402

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	5	9	10	90%
業務改革への姿勢	5	9	10	90%
組織運営健全性	5	7	10	70%
財務健全化の傾向	5	8	10	80%
合計	20	33	40	83%



目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
業務改革への姿勢	法人経営の方針や事業の実施目標等を設定し、それらに沿った運営を行っているか等
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
財務健全化の傾向	法人の財務状況が健全化傾向にあるか(前々年度・前年度の平均値と比較)

[貸借対照表（令和6年3月31日現在）] (単位：円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
流動資産		流動負債	
現金	5,349,917	買掛金	150,915
預金	113,035,903	未払金	10,076,556
商品	5,962,711	未払費用	983,095
貯蔵品	1,258,713	未払法人税等	4,299,000
前渡金	250,000	預り金	1,538,434
前払費用	134,310	一年内返済長期借入金	10,008,000
未収入金	3,038,504	未払消費税	3,794,700
有価証券	100,109,926	賞与引当金	6,259,095
固定資産		固定負債	
有形固定資産		長期借入金	14,154,000
建物	727,873	退職給付引当金	58,288,318
建物付属設備	518,977	負債合計	109,552,113
構築物	4,967,099		
機械装置	11,846,843	株主資本	
車両運搬具	5,415,789	資本金	300,000,000
工具器具備品	562,462	利益剰余金	
無形固定資産		(うち前期繰越利益)	74,767,393
電話加入権	944,000	(うち当期利益)	17,580,009
投資その他の資産		正味財産合計	392,347,402
投資有価証券	247,692,698		
差入保証金	30,000	負債及び正味財産合計	501,899,515
長期預託金	53,790		
資産合計	501,899,515		

[自己評価]

前年度の法人運営についての自己評価（振り返り）	新型コロナウイルスが5類に移行されたことにより、国内外の観光客が増加し、売り上げ全体で対前年比110.7%となった。また、コロナウイルス流行前の令和元年度に対しても109.6%となり、コロナ前の水準を上回ることができた。当期純利益は17,580千円となり2期連続の黒字となった。		
事業実施上の課題（主に目的適合性・業務改革の姿勢の評価を基に作成）	「日光国立公園を訪れる人々に自然や文化の情報を提供し、併せて、観光産業の振興を図るため日光自然博物館を設置する。」という当初の構想の下、各事業を運営しており、SNS発信や外国人に対する案内等も整備している。多様化するニーズに迅速かつ適切に対応していくことが必要である。		
組織・財務上の課題（主に組織運営健全性・財務健全化の傾向の評価を基に作成）	新型コロナウイルスが5類に移行されたことから奥日光に訪れる観光客が回復し、各事業が好調であったため、2期連続の黒字となった。令和6年度からは新たな指定管理の指定を受けることから、新たな数値目標により、引き続き経費削減に努め収益を確保していく。		
県現職派遣の理由、必要性の評価	県現職派遣無		
課題に対する今後の取組の方向性	概ね各事業とも好調であったが、国際避暑地記念施設等、前年をやや下回る部門もあることから、誘客イベント、広報、SNS発信等、奥日光地区への誘客を促し、国際避暑地及び各施設の利用増に努めていく。		
得点率の推移	R4 78%	R5 83%	R6 —

[所管部局評価]

政策目標		日光国立公園を訪れる人々に自然や文化の情報を提供し、併せて観光産業の振興を図る。	
県と法人の役割分担	県の役割	政策目標達成のため、関係機関と連携を図りながら総合的に施策を進める。	
	法人に期待する役割	日光国立公園を訪れる人々にその自然や歴史文化に関する正確な情報と専門的な知識を提供するとともに、観光産業の振興に寄与すること。	
財政（千円支出状況）	区分	令和6年度予算額	令和5年度決算額
	補助・交付金		564
	委託料	105,800	124,200
	貸付金		
	その他		
	計	105,800	124,764

指定管理	施設名	管理運営状況評価(R4)			
		A	B	C	D
	栃木県立日光自然博物館 栃木県奥日光地区駐車場 栃木県中禅寺湖畔国際避暑地記念施設	2	20		

役割の実現状況	事業概要 日光自然博物館、奥日光地区駐車場及び中禅寺湖畔国際避暑地記念施設管理運営指定管理業務	効果測定指標	目標値	実績			R5 達成率	効果測定				
				R3	R4	R5						
				日光自然博物館利用者数(人)	31,515	33,995			35,108	38,893	123%	A
				国際避暑地記念施設利用者数(人)	175,000	85,691			87,600	83,699	48%	C
	駐車場利用台数(台)	266,300	217,944	255,651	281,439	106%	B					

法人の自己評価に対する意見

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、奥日光地区においても観光客数が回復する中、コロナウイルス流行前の令和元年度に対して売上全体が109.6%となり、コロナ前の水準を上回った。2期連続の黒字となっており、財政面での改善が図られている。また、地域事業者等と連携したツアーやイベントにも積極的に協力を行っている。

国内外の観光客のさらなる増加や旅行者のニーズの変化が予想されることから、関係機関や地域と協力しながら、効率的かつ効果的な事業のあり方を検討されたい。

県が期待する役割の達成	A
-------------	---

今後の連携・見直し方針	引き続き効率的な管理運営及び経費の削減に努めるとともに、地域と連携した業務運営に努めるよう指導していく。今後も、奥日光地域の誘客促進に向け、利用者のニーズに的確に対応したサービス提供に努めるとともに、関係機関等と連携し、運営に努めるよう指導していく。
-------------	---

[総合評価]

[R4行革委員会報告書（個別法人に対する評価等・継続検討項目以外）]

A	総合的所見 新型コロナウイルスの5類移行に伴い、国内外の観光客が増加し、2期連続の黒字決算となった。今後も、指定管理者として各施設の適切な管理運営に努めるとともに、デジタル技術等を積極的に活用し、奥日光地域の情報発信や誘客促進に向けた取り組みを実施されたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 見直し方針に順調に対応してきたが、今後とも新たな事業展開等による自立運営に努める必要がある。</li> <li>➢ 近年の感染症の拡大等の不測の事態においても収入を確保できるよう、デジタル技術の積極的活用等の創意工夫が必要である。</li> </ul>
指摘事項	なし	